

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	愛の木放課後等デイサービス uki		
○保護者評価実施期間	令和8年2月9日		令和8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和8年2月9日		令和8年2月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画に基づく専門的かつ丁寧な支援	半年ごとの支援会議と日々の記録をもとに、児童一人ひとりの発達段階やニーズを把握している。職員間でのミーティングを定期的に行い、支援内容の共有と振り返りを徹底している。標準化ツールと日常観察の双方から客観的な評価を行い、計画に反映している。	支援の成果や成長過程をより具体的に保護者へ可視化し、共有方法を工夫する。外部研修等を活用し、専門性のさらなる向上と支援の質の安定化を図る。
2	安心できる環境整備と高い満足度	空間の構造化や清潔保持を徹底し、動線や活動内容に配慮した環境を整備している。状況に応じて個別対応スペースも確保し、安心して過ごせる環境づくりを行っている。保護者評価では満足度が高く、通所を楽しみにしているとの回答が多い。	活動参加人数の増減や活動内容に応じた柔軟な空間活用を検討する。安全対策や環境整備の取り組みを積極的に発信し、より安心感の向上につなげる。
3	保護者との連携と情報発信体制	送迎時や連絡ノートを活用し、日々の様子や小さな変化も共有している。相談体制を整備し、悩みや不安に寄り添った助言を行っている。通信やSNSを通じて活動内容や事業所の取り組みを定期的に発信している。	情報発信を一方に終わらせず、意見交換の場を増やす。保護者参加型の取り組みを検討し、家庭との協働支援体制を強化する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援・保護者交流機会の充実	個別相談は実施しているが、体系的なペアレント・トレーニングや保護者同士の交流機会は十分とは言えない。参加率やニーズのばらつきも影響している。	アンケート等で具体的なニーズを再確認し、短時間・少人数形式の勉強会から実施する。オンライン活用など参加しやすい形態も検討し、継続的な機会の創出を目指す。
2	地域交流・地域に開かれた運営	保護者の希望が分かれることや安全面への配慮から、児童館等との交流機会は限定的である。地域住民との関わりも十分とは言えない状況である。	保護者の意向を尊重しつつ、小規模な交流活動から段階的に実施する。地域行事への参加や合同イベントの企画など、無理のない形で地域との接点を広げる。
3	非常時対応・安全体制の周知強化	マニュアル作成や訓練は実施しているが、保護者への周知や理解度には差が見られる。訓練の実施状況が十分に伝わっていない可能性がある。	避難訓練やBCP訓練の様子を通信や写真で発信する。年1回以上、安全計画や対応体制を説明する機会を設け、安心感の向上につなげる。